

一般社団法人日本内科学会臨時理事会議事録

1. 日時 令和2年4月10日(金) 14時30～15時30分
2. 場所 東京都千代田区丸の内3-5-1
東京国際フォーラム ホールB7
3. 理事総数 20名 出席した理事の数 19名(*印の16名はWeb会議参加)
出席者 [理事]
矢富 裕、秋田弘俊*、張替秀郎*、金井隆典*、黒川峰夫、南学正臣、横手幸太郎*、駒津光久*、
下畑享良*、長谷川好規*、梶波康二*、西 慎一*、水野敏樹*、三輪洋人*、神田 隆*、日浅陽一*、
筒井裕之*、星野友昭*、名越澄子*の19名
[監事]
北園孝成*、成田一衛*、持田 智の3名
欠席者 [理事]
森屋恭爾の1名

4. 議事の経過及び結果

定足数11名を超える19名の理事が出席(16名はWeb会議出席)し、定款35条により理事会が成立したことを確認した後、事務局より、矢富 裕理事に仮の議長をお願いしたいとの提案があり、承認を得た。矢富 裕理事が仮の議長となり、各自自己紹介の後、次の5議案について逐次審議することとなった。今回はZOOM MeetingというWeb会議ソフトを利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、議事に入った。

第1議案 理事長選任の件

長谷川理事より、矢富 裕理事を理事長として推薦したいとの提案があり、全員了承の上決定し、同氏は席上就任を承諾した。以後、矢富 裕理事長が議長となり議事を進行した。

第2議案 副理事長選任の件

議長より、副理事長を引き続き長谷川好規理事と新たに南学正臣理事の2名をお願いしたいとの提案があり、承認を得た。

第3議案 理事担当業務の件

議長より、理事の担当業務について2年目の理事については原則的に前年の担当業務を引き続きお願いしたいとの説明の後、総務担当：秋田弘俊・南学正臣、財務・組織管理担当：黒川峰夫・駒津光久、学会在り方担当：梶波康二・名越澄子、倫理担当：神田 隆・長谷川好規、医療安全担当：長谷川好規(併任)・横手幸太郎、学術誌担当：日浅陽一・水野敏樹、学術集会担当：三輪洋人・森屋恭爾、専門医制度担当：南学正臣(併任)・張替秀郎、生涯教育担当：筒井裕之・西 慎一、支部担当：名越澄子(併任)・星野友昭、専門医部会担当：金井隆典・下畑享良の各理事をお願いしたいとの提案があり、提案通り決定した。

第4議案 新型コロナウイルス感染症に関連した各種対応について

1) 各種講演会の中止について

議長より、7月12日までの各種講演会については新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえて中止としたいとの説明があり、承認を得た。

2) 専門医制度関係の対応について

事務局より、各種講演会の中止に伴う認定更新の対応案、資格認定試験の中止を含めた対応案、専門研修への影響に対する措置等について説明があり、いずれも提案の通り承認を得た。また、専門医制度(リーリング、サブスペシャリティの在り方)について説明があった。理事からシーリングの見直しを希望する旨の意見があり、議長から今後も意見を伺いながら進めていきたいとの発言があった。

3) その他

事務局より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、当面の事務局の運営について説明があり、承認を得た。

第5議案 その他

議長より、利益相反委員会の令和元年度の委員について、令和元年度をもって任期満了となり交代するところであるが、日本医学会のCOI管理ガイドラインが改定中と過渡期であることから、引き続きもう1期をお願いしたいとの提案があり、承認を得た。また議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和2年4月10日

一般社団法人日本内科学会理事会 出席理事長 矢富 裕

出席監事 北園 孝成

出席監事 成田 一衛

出席監事 持田 智